

整理No.2015-62		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2015年 7月 7日(火) 13時 30分 天候(雨) 温度(-℃)湿度(-%)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害(休業:△日)			
被 災 者	部門	技術		雇用形態	正社員 <input checked="" type="radio"/> 派遣 <input type="radio"/> 契約、その他()
	年齢	40 歳	性別:	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数 3か月 経験年数 3か月
	傷病名	火傷			
	傷病部位	左腕(手首上位より肘にかけて)			
災 害 発 生 状 況	沸水試験をしているとき、沸騰水試験用のお湯が沸騰しているか確認しようとした際に試験バットの蓋を容器に水平に上げたため、沸騰中の蒸気が一気に360° 外部に放出され腕に蒸気が当たった。		状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 ^{※1)}	7. 高温物との接触		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他()	
	起因物:	水蒸気		特記事項	
原 因 分 類	1.人的要因(man)				
	半袖の作業着及び手首までの綿手袋を着用していたため、露出部が多かった。				
	2.物に関する要因(machine)				
	通常は10Lバットを使用しているが、今回は20Lバットを使用したため蒸気量が多かった。				
3.環境要因(media)					
作業台上での作業であり、水平に蓋を開けた際に蒸気が作業の方へ流れた。					
4.管理的要因(management)					
作業手順が定められていなかった。					
対 策	①沸水試験作業時には長袖(半袖の場合はアームカバー)及び長手袋を着用する。				
	②試験バットは10Lに固定し、蓋は完全密閉せず蒸気が逃げるように一部開放する。				
	③ドラフト作業台で作業し、蓋の開放は水平にせず自身と反対側から開放する。				
	④沸水試験用の作業手順を作成し周知する。				
対策分類 ^{※2)} : 1-4安全設計、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)